



Motivation and Creativity
for All Teens.

2015年に再建したJR女川駅前にて(宮城県女川町)

認定NPO法人カタリバ

年次報告

2017年度

2017年9月1日～2018年8月31日

どんな環境に
生まれ育っても、
未来をつくりだす力を
育める社会に

KATARIBA
Shape the Future

ご支援いただいた企業・団体の皆さま

教材や備品の寄贈、システムや会場の無償提供、職場訪問など、
さまざまな形で多大なるご支援・ご協力をいただき、心から感謝しています。



サッポロホールディングス株式会社

2011年から継続して、恵比寿麦酒祭りのビール売上相当額の一部を、次世代育成として東北・熊本のコラボ・スクールへご寄付していただいている他、飲料水提供など多くのご支援をいただいています。



リシャルミルジャパン株式会社

2013年から継続してチャリティオークションの収益を、東北のコラボ・スクールの運営費としてご寄付いただいています。



宗教法人救世軍

世界中で被災地支援を行う一環として、2016年からコラボ・スクール女川向学館（宮城県女川町）の運営費のご寄付をいただいています。



メリルリンチ日本証券株式会社

2012年から継続してコラボ・スクール大槌臨学舎（岩手県大槌町）へ運営費をご寄付いただき、2016年にはアダチベースにもご寄付いただきました。



株式会社大戸屋

2014年から継続して期間限定メニューの売上の一部を、東北及び熊本のコラボ・スクールへご寄付いただいている他、生徒たちと共同でのメニュー開発の機会をご提供いただいています。



フィリップ モリス ジャパン

フィリップモリスジャパン合同会社

2017年からコラボ・スクールましき夢創塾（熊本県益城町）の運営費としてご寄付をいただいています。



コマツ

コラボ・スクール双葉みらいラボ（福島県広野町）のレハブ校舎建設のご支援をいただきました。



株式会社ウィルグループ

2012年から定期的に東北のコラボ・スクール等へご寄付や、若手社員さまと10代と一緒に将来を考える特別授業等を実施いただいています。



ヤフー株式会社

2012年から継続的に「Yahoo! ネット募金」への掲載で寄付募集にご協力をいただいています。2017年と2018年には「Search for 3.11 検索は応援になる。」プロジェクトによるご寄付もいただきました。



モルガン・スタンレー

社員の皆さまのご寄付に会社のマッチングギフトを合わせ、コラボ・スクールを始めとするカタリバ全体の活動にご寄付いただいている他、ボランティアプログラムとして学びの場もご提供いただきました。



株式会社チョイスホテルズジャパン

2016年から継続して東北及び熊本のコラボ・スクールへご寄付いただいている他、イベントの際の生徒たちの無料宿泊等のご支援をいただいています。



ユナイテッド航空

東北及び熊本のコラボ・スクール、アダチベースの運営資金をご寄付いただいている他、航空券の無料支給等のご支援をいただいています。

ピーアークホールディングス株式会社 / 三井物産株式会社 / ジャパン・ソサエティー / ブラザー工業株式会社 / ONE TENTH Project
株式会社プラスト / ドクターリセラ株式会社 / Estudio Candela / ロート製薬株式会社 / かるがも基金 / 外国法共同事業法律事務所リンクレーターズ
横浜ゴム株式会社 / YOKOHAMAまごころ基金 / 八千代特殊金属株式会社 / 古本買取通販ドットコム株式会社 / 株式会社紀伊國屋書店
株式会社ドン・ヒラノ / Kyuentai e. V. / サッポロ不動産開発株式会社 / アイワ不動産チャリティコンサート実行委員会 / オルビス株式会社
ジビル調査設計株式会社 / 医療法人愛和会 / 株式会社CROSS / 株式会社スターテック / 一般社団法人ビジネス・エンジニアリング・センター
立正佼成会 足立教会 / 災害復興支援チャリティ / 水天宮

アスカ興業株式会社 / 株式会社LIFULL / NPO法人地域文化風習振興会 / 有限会社あきゅらいず / ニューヨーク補習授業校W校中高等部 / エヌ・ティ・ティ・コムウェア株式会社
株式会社七十七銀行 / ニュートンワークス株式会社 / 株式会社フロム・エー・ジャパン / 有限会社城山観光 / NECネットエスアイ株式会社 / 豊田通商株式会社 / 株式会社鈴生
アリックスパートナーズ・アジア・エルエルシー / リ・カレント株式会社 / Youth Theatre Japan / NPO法人小江戸大江戸トレニックワールド / 啓明学院中学高等学校生徒会
プリンセス・クルーズ / 有限会社京林トネリコ / 表千家京都青年部 / 小平神明宮 / WWE Japan合同会社 / シクロクロス東京実行委員会 / 鳥羽国際ホテル / SCAB実行委員会
聖心女子学院みこころ社会福祉部 / 真宗大谷派 徳蓮寺 / 327実行委員会 / 天台宗埼玉教区寺庭婦人会 / パーハタナカ / 学校法人三木学園白陵高等学校生徒会
P-LANDグループ / うなぎ二葉京王サンモール店 / さかえ幼稚園 / MMJGrand 実行委員会 / オカダ商事株式会社 / 調布教会 被災地とつながる会 / HOPE CORP KEEP
東海大学ボランティアサークル Team the SAME SKY / DanceNut'sCULB / ハニーハート軽井沢 / 株式会社waja / 特定非営利活動法人WE21ジャパンみなみ
イーストフォレスト合同会社 / ラブフォー・ジャパン / 混声合唱団オーデンコール / 株式会社バリューブックス / 株式会社ジュビターテレコム / 株式会社ニューエア

※敬称略 ※その他にも多くの企業さま・団体さまからご支援いただきました

どんな環境に生まれ育っても 未来をつくりだす力を育める社会に

NPOカタリバは、どんな環境に生まれ育っても
未来をつくりだす力を育める社会を実現するために、
意欲と創造性をすべての10代が手にできる未来を目指して
活動しています。



【島根県】

島根県で、のべ**579人**の小中高生に、
キャリア教育と不登校支援を届けました。

島根県雲南市では、「おんせんキャンパス」を拠点に、ふるさとの課題解決を担う人材
輩出を目指し、教育から地域の魅力化・活性化のサポートを行っています。島根県益田
市では、市役所にスタッフを配置し、探究的な学びや地域の教育づくりをサポートしま
した。2017年度は、491人の中高生にキャリア教育を届け、88人の小中学生に不登校
支援を行いました。



マイプロジェクト 【全国】

全国の高校生**1,743人**がマイプロジェクトに挑戦しました。

高校生が地域や身の周りの課題を見つけ、解決に向けて実行する「マイプロジェク
ト」。2017年度は、全国の高校生1,743人が、探究的な学びを促進するためのサ
ポートを受けました。2018年3月に開催したアワードには、230プロジェクト、1,694
人がエントリー。アクションを重ねてきたチームや個人が発表を通して学び合い、
得た学び・刺激を地元を持ち帰りました。



西日本豪雨災害支援

西日本豪雨で被災した高校生
105人が安心して高校に通えるよう、
通学や学校生活サポートを行いました。

岡山県立矢掛高校および矢掛町と協働し、西日
本豪雨で被災した高校生一人ひとりに個別ヒア
リングを行いました。通学が困難になってしまっ
た高校生向けのスクールバスの運行や部活動用
品や学用品の支援などを行いました。



【全国】 高校生の心に、“火を灯す”授業
カタリ場

6,964人のボランティアキャストが**180校**、**31,735人**の
生徒へ「ナナメの関係による本音の対話」を届けました。

高校生たちの意欲を高めるキャリア学習プログラム「カタリ場」を、のべ6,964人の
ボランティアキャストと全国の連携ネットワークで力を合わせ、全国180校31,735人
に届けました。

被災地の“放課後学校” コラボ・スクール

女川向学館(宮城県女川町)
大槌臨学舎(岩手県大槌町)
双葉みらいラボ(福島県広野町)
ましき夢創塾(熊本県益城町)

東北では**1,224人**の幼児～高校生に、
熊本では**955人**の子どもたちに、未来を思い描く力を届けました。

宮城県女川町、岩手県大槌町、福島県広野町、熊本県益城町の4拠点で震災の悲し
みを強さに変え、未来を主体的に思い描く力を育むための心のケアと学習支援を
行っています。2017年度は、1,224人の東北の子どもたち、955人の熊本の子どもた
ちがコラボ・スクールを利用しました。



中高生の秘密基地。 b-lab 【東京都文京区】

中高生の秘密基地を**4,661人**が利用しました。

「b-lab(ビーラボ)」は、カタリバが東京都文京区から運営を委託
された、いつでも、なんでも挑戦できる中高生の秘密基地です。
学習支援、音楽、スポーツなど様々なイベントを実施し、中高生自
身がイベントに参加、参画する機会を作っています。2017年度
は、文京区に在住・在学・在勤の中高生4,661人が利用しました。



アダチベース 【東京都足立区】

困難を抱える子どもたち**155人**に、
安心して学び、集える場を届けました。

東京都足立区から委託を受け、困難を抱える子
どもたちへ居場所と学習支援を提供しています。
2017年度は、2拠点で155人の中学生を対象に、
学習支援の他、食事の提供や体
験活動などを行い、彼らの自律す
る力を育んでいます。



日本中のすべての10代の 意欲と創造性を 引き出せる社会を目指して



代表理事
今村 久美



共同創業者
三箇山 優花

どんな環境に生まれ育っても、10代
の、まだこれからなんにでもなれる
時間に、未来はつくれると信じられ
る意欲と、わくわくしながら知りたい
ことが広がり続ける創造性を、誰し
もが手にできる当たり前をつくりた
い。そんな想いと共に、形にならない
日々悩みながら、たくさんの支援
者の皆さまに支えられ、ここまで走り

続けて、カタリバは18年目を迎えま
した。私たちは、10代という繊細で
多感な世代が、多様な人と出会い、
語り、悩み、学ぶことのすべてが、予
測不能な未来を生き抜く意欲と、創
造性になると信じています。これから
もカタリバは、日本中のすべての10
代の意欲と創造性を引き出せる社
会を目指して、取り組んでいきます。

“ 豊かな愛をたくさんもらい、
前に進もうと思えた ”



震災当初は、被害状況も様々な中で、友人にもどう接するべきかわかり
ませんでした。人間関係に悩んでいた私が、前に進もうと思えたのは、大
槌臨学舎の先生が寄り添い続けてくれたからです。「学びが豊かである
ほど人生は豊かになる」これは父と大槌臨学舎の大好きな先生から学
んだことです。いまは豊かに学びを得るために知識にふれたり、人と対
話を重ねたりしています。私は人の変化に向き合い、一緒に刺激あっ
て生きるために、これからもたくさんのことを学んで行きたいです。

コラボ・スクール大槌臨学舎卒業生(大学2年生)

“ 家ではアダチベースで食べた
料理も作ります ”



私はアダチベースに通うようになり、たくさんの友だちができ、いろん
な人と話せるようになって、人見知りも少なくなってきたと思います。自分
から進んで勉強ができるようになり、家でも親に言われる前に進んで勉
強ができるようになりました。私は普段家の手伝いをします。家ではアダ
チベースで食べた料理もよく作ります。いろんな料理の作り方を知った
のは、アダチベースに入ってからです。私の今の夢は、レストランで料理
を作ってみるに食べてもらうことです。

アダチベースに通う高校1年生

※アダチベースでは生徒のプライバシー
に配慮し個人の写真を使用していません

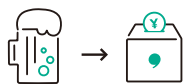
※生徒の学年はすべて2018年12月現在

ご支援いただいた企業事例

このようなご寄付の方法もあります！

1

売上の一部をご寄付



例



期間限定のイベントで、生ビールの売り上げ等をご寄付いただきました。

2

ポイント還元によるご寄付



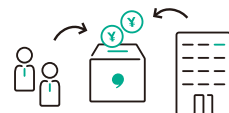
例



顧客が利用して貯めたポイントをご寄付いただきました。

3

マッチングギフトによるご寄付



例

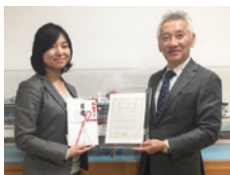


社員が寄付し、さらに会社が同額相当を上乗せする形でご寄付いただきました。

ご支援いただくと、以下をCSRのための外部広報に利用できます

贈呈式

東北・熊本を含む各拠点で対応可能です。また内容によってはメディア誘致も可能です。



東北・熊本ツアー

企業さまからは大変好評で、社員研修の要素にもなるとの声をいただいております。



社名の掲示

Web、年次報告書等で金額に応じてロゴや社名の掲載をいたします。
※ご相談可能です



これからCSRをお考えの企業の方へ

CSRとしてカタリバをご支援いただく方法は様々ございます。
下記の方法以外にもご希望に合わせて、オーダーメイドすることも可能です。

社内講演

ランチ時などを利用して、興味のある社員を対象に講演を実施します。

ポスター配布

社内掲示用のポスターを配布します。

不要品・古本を通じた寄付

不要になった服や本などを社内で集め、その売り上げをご寄付いただけます。

寄付自販機設置

社内に設置する自販機の売り上げの一部をご寄付いただけます。自販機用ポスターも作成します。

お気軽にお問合せください

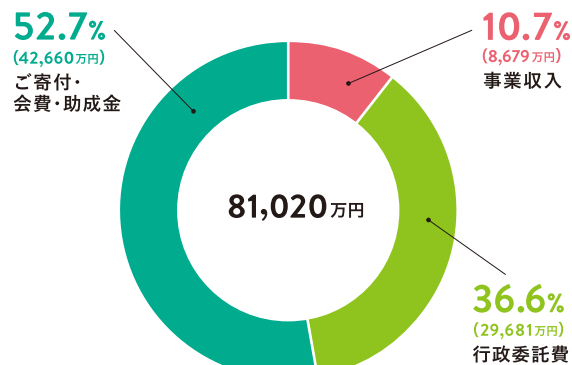
認定NPO法人カタリバ ☎ 0120-130-227 (平日9時半～17時半)

活動計算書(2017年9月1日~2018年8月31日)

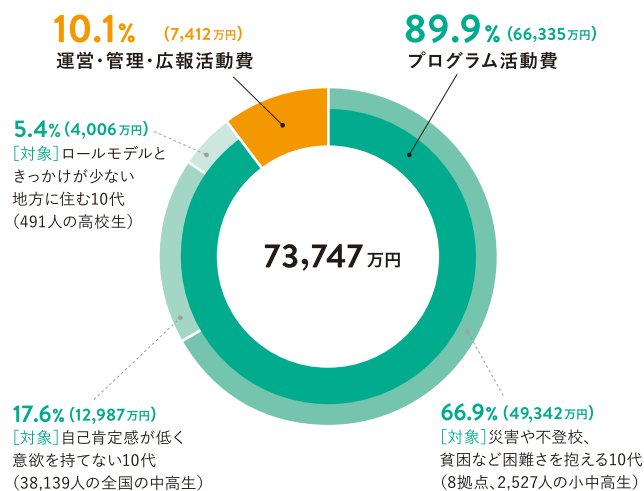
(単位:円)

	科目	金額
一般正味財産増減の部	1 受取会費 正会員受取会費・賛助会員受取会費	5,783,000
	2 受取寄付金 受取寄付金・指定正味財産の部より受取寄付金振替額	357,385,077
	3 受取助成金等 受取国庫補助金等・受取民間助成金	63,434,294
	4 事業収益 人づくりを通じた社会活性化に関する事業収益	1,467,477
	キャリア学習イベント等活動の企画・実施事業収益	253,651,571
	災害等により学習環境に恵まれない人たちのための通信教育、学習相談その他の教育事業収益	122,598,086
	普及啓発事業収益	1,483,004
	5 その他収益 受取利息・受取配当金・雑収入	4,397,037
	経常収益 計	810,199,546
	1 事業費 人件費	335,777,657
	その他経費	382,535,447
	事業費 計	718,313,104
	2 管理費 人件費	13,824,811
	その他経費	5,332,096
	管理費 計	19,156,907
指定正味財産増減の部	経常費用 計	737,470,011
	当期経常増加額	72,729,535
	税引前当期一般正味財産増加額	76,404,126
	法人税、住民税及び事業税	548,000
	当期一般正味財産増加額	75,856,126
	前期繰越一般正味財産額	230,589,369
	次期繰越一般正味財産額	306,445,495
指定正味財産増減の部	1 受取寄付金	109,485,618
	2 受取助成金	59,700,000
	3 一般正味財産への振替額	▲157,077,220
	当期指定正味財産増加額	12,108,398
	前期繰越指定正味財産額	390,654,677
	次期繰越指定正味財産額	402,763,075
次期繰越正味財産		709,208,570

収益の内訳



費用の内訳



2017年度、カタリバは国内の9つの地域に拠点をもち、10代の子どもたちへのサポート・伴走を行いました。経常費用は73,747万円で、前年度比12,161万円(119.7%)増加しました。度重なる災害や過疎地域の問題、貧困や不登校など、支援の必要性が増しており、受益者数は41,157人になっています。主に、東北復興関連予算の減少が予測より緩やかであったため、経常収益が予算を上回り、次期繰越正味財産は70,921万円となりました。ただし、次年度以降の収支は赤字を予測しているため、今回計上された正味財産は事業を継続して行っていくために費消予定です。

未来は、つくれる。

KATARIBA
Shape the Future

認定NPO法人カタリバ

東京都杉並区高円寺南3-66-3 高円寺コモンズ2F

☎ 0120-130-227(平日9時半~17時半)

カタリバ

検索

<https://www.katariba.or.jp>

f NPOカタリバ @katariba